

○ 本評価表は、保育所等訪問支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

○ 「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材は適切であるか。	○		・訪問時の本人に対する直接的な支援は行っていない。 ・学校園・保護者に対して参考資料の提供、参考書籍の紹介に努めている。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	・担当職員が1名であるため、適正な契約数にしていくために利用規約を明確に定め、事業の目的にふさわしい対象者となるよう進めていく。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・保育所等訪問支援会議を所内で実施しているが、さらに充実したものになるように時期・回数・内容について検討していく。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・昨年度の反省を活かし、訪問日程の確認をメールで行うなど改善した。今年度も保護者評価の機会を設定している。
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・定例の会議以外でも、日常的に報告相談をしている。今後も問題と感じることに対して積極的に発信を行い、幅広く助言を受けながら改善策を講じていきたい。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・未実施 ・令和9年度より実施予定。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・基礎的な研修、福祉教育連携に関する研修等に参加した。 ・今後は法人外の研修にも積極的に参加していく。
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		・保護者の困りごとについて丁寧に聞き取り、問題の特定を行いながら計画立案を行った。 ・アセスメントシートを改善し、契約時点の相談で現状やニーズをより的確に把握できるようにしていく。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・児童発達支援センターを利用している児童については、日常的に担任と情報共有を行っている。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。		○	・訪問先の状況、都合で現実的には困難。 ・訪問の機会を活用しながら意向を聞き取るよう努力する。計画の理念・具体的内容を共有できるように働きかけていく。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・個別ファイルで管理を行っている。 ・計画通りに進まない困難ケースについては相談の機会を設けるようにする。
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・フォーマルなアセスメントは行っていない。 ・行動観察・分析を行う際に、機能分析等の観点をもった上で行うようにする。 ・保護者・訪問先職員・支援者等、複数から多面的な情報を収集するように留意する。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・現在も考慮しながら作成しているが、さらにガイドラインの内容を反映しやすくするために書式、表記を工夫していく。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		※前掲11

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○	・訪問担当者が一名で訪問することがほとんどであるため、そういった必要性があまりない。児発管が同行する場合などには打ち合わせを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	・今後も巡回相談員、相談支援専門員等と連携を図りながら進めていく。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。		○	・訪問先の現状把握に努め、できるだけ現実的な提案を心掛けている。 ・可能な限り複数の提案を行うように努力する。
	18	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。		○	・訪問支援記録や相談記録、電話の記録も取るようにしている。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		○	・定期的ではないが情報収集を行いながら支援の重点について確認を行っている。 ・担当者と保護者・相談支援専門員の終結についての判断が合致せず、必要性が薄れても継続となっているケースがある。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		○	・必要に応じて児発管に同席してもらい、療育担当者からの情報収集を行うなどの方策を取っている。 ・適正な利用人数に近づけ、保護者・相談支援専門員との連絡を日ごろからこまめに取れるようにする。
	21	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	・現在も必要な機関とケース会等を通じて連携を図っているが、ケースの内容に応じてさらに機動的にチーム支援が行えるようにしていく。
	22	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	・保護者の希望、園の方針によって対応が異なる。 ・希望がある場合には保護者・園・療育担当者と協力しながら、サポートブックを作成した。 ・必要がある場合には、療育担当の協力を求める。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。		○	・困難ケースについて、おかやま発達障害支援センターにコンサルテーションを依頼した。 ・今後も専門的な知見を活用できるように幅広く情報収集を行っていく。
	24	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		○	・今年度担当者は参加しなかったが、管理者・児発管等が参加している。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		○	・担当者がフィードバック・相談等以外に会う機会はないため、それらの機会には状況を丁寧に聞き取るように心がけている。 ・今後は双方向のメールなど保護者からの発信が得意やすいような方法も検討していく。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・児童発達支援センターを通して案内を行っている。 ・さらに周知できるようにしていく。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		○	・運営規程に基づき利用者負担等について説明は行っている。 ・今後はさらに事業の趣旨や実際の運営方法についても丁寧に説明を行うように努める。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。		○	・一定の説明は行ってきたが、説明資料を作成するなどさらに分かりやすい方法を検討する。 ・所属長だけでなく、担任やコーディネーター等にも目的を理解してもらえるように働きかけていく。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		○	・本人から直接話を聞く機会はないが、保護者・支援者と情報共有を図り、意向を尊重するように留意する。 ・意向が的確にみ取れるようにインテークの方法や書式を改善する。

保護者等への説明等	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		・説明を行い、同意を得ている。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		・定期的ではないが、フィードバックの機会を利用して悩み事などを聞き取り、相談にのるようにしている。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		・児童発達支援センター利用の保護者には、土曜療育や保護者カフェ等の機会を設定している。
	33	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		・重要事項説明書に明記し、説明を行っている。 ・相談・申し入れ等があった場合には、必ず検討し、所内で協力しながら適切な担当が対応するようにする。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		・児童発達支援センターとしての取り組みで行っている。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		・法人の個人情報保護規程に基づき対応している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		・相談支援専門員に同席してもらうなど配慮している。 ・必要に応じて文書で渡す、メールで再確認するなどの配慮を行っている。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	<input type="radio"/>		・観察以外でも依頼に応じて情報共有のために来訪したり、ケース会に参加したりしている。 ・今後は教材作成の相談、文献提供などさらに積極的に働きかけていく。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	<input type="radio"/>		・訪問先が多忙で余裕がないことが多く現状では難しいことも多い。依頼がある場合は行っている。 ・訪問先の負担を考慮しながら電話・メール等も活用して共通理解を図っていく。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	<input type="radio"/>		・来所してもらい訪問時の様子を具体的に伝え、内容の共有を行うようにしている。 ・必要な場合には資料を準備して、分かりやすく説明を行っている。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		・法人の個人情報保護規程に基づき対応している。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	<input type="radio"/>		・中立的な立場として訪問先職員の努力を保護者に伝えて関係改善を図ることで、信頼関係を築いていくことができつつある。 ・さらに積極的に困っていることを聞き出し、専門的な助言を行うことによって信頼を高めていきたい。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		・児童発達支援センターとしての取り組みで行っている。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・児童発達支援センターとしての取り組みで行っている。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		・児童発達支援センターとしての取り組みで行っている。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		・児童発達支援センターとしての取り組みで行っている。

46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	・児童発達支援センターとしての取り組みで行っている。
----	--	---	----------------------------